

SMFL SDGs支援商品拡充

レンタルサービス 料金の0.1%寄付

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、契約金の一部を国連の持続可能な開発目標(SDGs)達成に役立てる商品を拡充する。子会社を通じて、料金の0.1%をSDGsに取り組み民間非営利団体(NPO)に寄付するレンタルサービスを始める。SMFLは同様のSDGsリースを2019年末に投入。期初には3割を出資するグループ会社も寄付型オートリースを始めた。サービスを介し、顧客のSDGs貢献を支援する。

年40億円の利用目指す

SMFLレンタルを本格的に始める。年間40億円の利用を目指す。対象は原則どの(東京都千代田区)がレンタルで同様のサービス。対象は原則どの月内にも寄付型レンタルビスは国内初という。レンタル商品でもよ

く、顧客の希望で寄付型にするかを選択でき

る。寄付金は生活が苦しい家庭の高校教育を支援するNPOの活動に使われる。

SMFLは、19年12月にSDGsリース「みらい2030」の提供を開始。SDGsに取り組みたい中小企業がリースを利用するだけで容易に貢献できる。同社グループでは21年に住友三井オートサービス(東京都新宿区)が、SMFLのSDGsリースの枠組みを使ったオートリースを始めている。